

看護学課題研究（地域看護学）

[研究] 通年 選択 180時間 6単位

《担当者名》工藤禎子 [cxm02601@hoku-iryo-u.ac.jp]

【学修目標】

1. 地域看護学特論と演習での学習を基に、地域看護学実践に関する自己の研究課題を明確にする。
2. 研究課題に関する文献検索とレビューを行い、研究目的を絞り込む。
3. 研究計画(対象とデータ収集方法の選定)、情報収集、分析を経て、論文にまとめるまでの一連のプロセスを体験する。
4. 研究のプロセスの体験から、地域の看護課題解決のための研究・実践能力を養う。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
		<p>【授業計画】 研究課題は地域看護活動に関する以下の要素を含むいずれかの内容とする。</p> <ol style="list-style-type: none">1. 慢性疾患や障がいの予防に関する地域看護学的アセスメント方法2. 住民参加による地域看護活動計画の策定、実施方法3. 地域で生活する慢性病患者、障がい者、高齢者やその家族への看護方法4. ケアコーディネーション，地域包括ケアシステム5. ケアのための社会資源の開発とシステムの構築6. 地域看護活動の評価方法7. 地域看護におけるケアの質の向上と関連する要因 <p>【研究方法】 ゼミナール形式でのプレゼンテーションと、指導担当教員のスーパービジョンにより、研究課題と研究目的を明確にし、研究計画を立案、データ収集と分析を実行し研究論文作成する。</p> <p>【研究指導日程】 4月 文献レビュー 研究目的の明確化 研究計画書の提出 5月 データ収集準備 6～9月 データ収集・分析 9月～ 論文の作成 12月 論文提出 (1年時から文献レビュー，研究目的の明確化，計画案の作成に着手する。)</p>	工藤

【授業実施形態】

面接授業と遠隔授業の併用

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

研究課題の明確化、研究方法の選択、実施の適切性等 50%

主査、副査による論文評価 50%

【学修の準備】

1. 自身の研究領域に関する学会、研究会への参加，および学術誌の講読．
2. 研究テーマに関連する学術論文，関連書籍の積極的な収集と講読．